弥五郎どんのごっ

曽於市立岩川小学校
TEL　４８２－００１１
FAX　４７８－１１２０
令和８年７月 14 日現在
児童数 236 人 職員数 27 人

一学期が終わります

校長　　小林　晋也

一学期も残すところ、後僅かとなりました。保護者の皆様には、授業参観やＰＴＡ活動を含めて、本校の学校経営に御協力いただき、誠にありがとうございました。

この一学期の間、子供たちは言葉や行動などに少しずつ成長が見られるようになりました。



例えば、どの学級も授業中の態度がよくなりました。「ともに学ぶ姿」が定着しつつある学級も増えてきて、生き生きと学習に取り組む姿が見られるようになっています。

あいさつの仕方では、元気よく声を出す子が増えてきました。また、声は小さくても、しっかりと頭を下げるなど、気持ちのいいあいさつができるようになりました。



そして、一番成長したと思うのは、集団行動のルールをしっかりと守れるようになったというところです。全校朝会や避難訓練など、全校児童が集まる場において、静かに待つ姿勢が徹底されてきています。特に、高学年の姿は立派で、頼もしい限りです。彼らが中心となって活躍する秋の運動会が、今から本当に楽しみです。

もう少し成長してほしい、と思うところもあります。それは、相手を思いやる気持ちです。子供の世界において、トラブルは避けられません。中にはトラブルが解消せずに、ずっと心を痛めたままの子もいます。

我々学校は、子供同士のトラブルに気付いたら、速やかな対応を徹底しております。ただ、教師の指導を受けて、その場で解決したかのように見えても、心の中のモヤモヤを完全に消すのは難しいです。「つい言ってしまった悪口」や「つい叩いてしまった」ことで、相手がどれだけ傷ついたかを、子供自身が真剣に受けとめて、これからどうすべきかを考えないと解決には至りません。

そういう心を育むためには、身近な大人である我々教師や保護者の皆様が、普段から声をかけていく必要があると思います。トラブルが起きていない平穏なときこそ、相手を思いやることの大切さを語りかけて、じっくりと心の成長を促していきたいですね。

夏休みに是非とも！

今年度も、歯科医による検診が全て終わりました。その結果、学校保健委員会でも申し上げましたが、治療が必要と言われたお子さんは 45 人でした。毎号、伝えておりますが、う歯治療は**早ければ、早いほど、治療期間も短くてすみますし、治療自体の痛みも少なくてすみます。**

せっかくの楽しい夏休みが、歯痛で苦しむ夏休みにならないように、是非とも早期に治療をお願いいたします。

また、もう一つ気になるのは視力の低下です。本校の裸眼視力が 1.0 未満のお子さんは、平均値を見ると全国よりも上回っています。視力は、短期間で急速に低下することもあります。気になる方は是非、夏休みの期間に眼科受診をお願いいたします。

家庭教育について②　「学習」への取組　～今回は、学習に対する御家庭での取組の例を紹介します～

子供が勉強に向き合うための方法①

子供が、勉強を「させられている」と思っていた場合、どんな声かけを行ったとしても、効果はほぼありません。反対に、ますます勉強を嫌いになる可能性もあります。まずは、勉強に対する苦手意識をなくすことが大事です。そのためには、日常生活の中で起こる出来事や、子供たちが夢中になっているものを利用して、「学び」を自然に身につけることがより効果的です。場に応じた声かけを、試してみてはいかがでしょうか。

＜具体例＞

○子供からの質問には、必ず考えさせるためのヒントを与えましょう！
（「これ何？」「どうして？」は、まさにチャンス！「うるさい！」「後でね！」は厳禁）
○子供の気付きには必ず同調、称賛し、さらにステップアップさせましょう！
（「すごいね！」「どうやって分かったの？」「え、じゃあ、これはどうするのかな？」）
○買い物を一緒にしながら、子供に計算させてみましょう！
（最初は１００円で足りるかな？から、徐々に難しくしていく。）
○テレビアニメを見ながら、子供に質問を投げかけてみましょう！
（「この後、どうなるんだろうね」「なんで、主人公は泣いてるんだろうね」）
○夢中になっている漫画やアニメこそ、うまく活用しましょう！
（「どの場面がおもしろかった？」「最後どうなるのかな？」）

子供が勉強に向き合うための方法②

一番嫌がるのは、「周囲との比較」です。（特に兄弟姉妹など、お子様同士の比較はアウトです。）

成長は人それぞれで、同じ学年でも差がつくのは当然であることを子供に理解させる必要があります。兄弟でも、「上の子ができたから、あなたもでできる」は親の勝手な思い込みです。その子に合わせたレベルをしっかりと踏まえた上で、出来たことを褒めて伸ばすようにしましょう。

子供が勉強に向き合うための方法③

勉強したくないのは「分からないから」ではなく、本当は「考えるのが面倒臭いから」です。ほとんどの子供は面倒臭いから、「分からない」で済ませようとします。プリントに書かれた無機質な文章題を与えて、「さあ解きなさい」では、いつまで経っても子供はやらないし、勉強嫌いに拍車がかかります。そこで、苦手意識が強いドリルやプリントの問題を、身近なものや子供に興味があるものに変換するなどの工夫が必要です。

＜具体例＞

○勉強の内容を、子供たちが興味があるものに変換してみましょう！
（算数の文章問題をアニメキャラクターに変えたり、乗り物に変えたりする。）
○テストの問題をクイズ形式に変えて問いましょう！
（国語の長文を親が読み、途中、途中でクイズにする。）
○インプットより、アウトプット。子供にテスト（問題）を作らせ（考えさせ）ましょう！
（最初は、ドリルやプリントの問題を親子で交代して出し合うから始める。）
○身近なものや過去の出来事に例え、問題内容を具現化してみましょう！
（近くのスーパーやコンビニでの買い物、旅行での出来事に例えたり、親が主人公に成り代わったりするなど。）

子供が勉強に向き合うための方法④

子供は、学校で４５分間の勉強を５時間～６時間やった後で疲れています。宿題は、その日の学校での学習をより定着させるために効果的な手段ですが、家でも同じように、長時間机に向かってやるのは逆効果です。まずは、宿題の意味を理解させ、その上で短時間に集中できる環境作りが必要です。また、習慣化させることも一つの方法です。子供たちは、習慣的なものであれば、自発的に行うようになっていきます。

＜具体例＞

○子供に宿題の意図を理解させて、奨励しましょう。
（「宿題は、学校でがんばって覚えたことを忘れないためだよ。」「今、どんな勉強しているの？」「難しいのによくできるね。ちゃんと学校で、勉強がんばっているんだね。」など。）
○短時間に設定し、集中できる環境にしましょう。
（低学年だと 15 分間一区切り×２回（慣れてきたら３回）※テレビ、ゲーム、スマホ等を近くに置かない。）
○食事、入浴、歯磨き等の前後に組み込んで、習慣化してみましょう。
（入浴前 15 分間　→　入浴　→　入浴後 15 分間など。）

日	曜	９　月　学　校　行　事
1	火	２学期始業式（給食あり）いじめ問題を考える週間（~7日）
2	水	５･６年身体計測　ＰＴＡ役員会
3	木	３･４年身体計測
4	金	１･２年身体計測
10	木	授業参観・ＰＴＡ教育講演会
13	日	ＰＴＡ愛校作業

日	曜	９　月　学　校　行　事
16	水	代表委員会、委員会活動
24	木	特別支援学級合同学習会
25	金	がん教育（６年）
28	月	陸上記録会選考会
29	火	児童集会（運動会スローガン他）
		運動会準備（５･６年）